

政務活動費（みらい下関）出張報告書

令和 元年 8月 6日

氏名 会長 戸澤昭夫 幹事長 木本暢一 林 透 田中義一 香川昌則 星出恒夫 林 昂史	用務 旭川市旭山動物園 視察
期間 令和 元年 7月 24日から 令和 元年 7月 26日まで	出張先 北海道旭川市 (旭山動物園)

調査事項・意見

旭山動物園は、1986年の開園以来、最北の動物園として『伝えるのは、命』をテーマに多くの入園者が訪れていた。しかし、1983年の約59万7千人をピークに減少に転じ、1996年には約26万人にまで入園者は落ち込んだ。

これを打開すべく1997年より、日本の動物園で一般的な、動物の姿形を見せることに主眼を置いた「形態展示」ではなく、行動や生活を見せる「行動展示」を実現する施設づくりに着手した。

同年には、巨大な鳥籠の中を鳥が飛び回る「ととりの村」が完成、翌年以降も「もうじゅう館」、「さる山」、「ペンギン館」、「オラウータン舎」、「ほっきょくぐま館」、「あざらし館」、「くもざる・あびばら館」、チンパンジーの森と毎年のような新施設をオープンさせ、そのたびに入園者を増やしていった。

旭山動物園の行動展示は、今後の動物園展示の指針として国内外の動物園関係者が視察に訪れるなど注目されている。

今後も新しい展示に取り組んでいくとのことであったが、入園料が、他の施設に比べて安価なため、10月の消費税の増税に合わせての料金改定を現在、検討中とのことであった。

政務活動費（ みらい下関 ）出張報告書

令和元年 8月 6日

氏名 会長 戸澤昭夫 林 透 幹事長 木本暢一 田中義一 香川昌則 星出恒夫 林 昂史	用務 札幌市立資生館小学校 視察
期間 令和元年 7月 24日から 令和元年 7月 26日まで	出張先 北海道札幌市 (札幌市立資生館小学校)

調査事項・意見

平成11年、都心部4小学校の児童数減少に伴い、「札幌市学校適正規模検討懇談会」が設置され、都心部小学校統合計画がスタートした。

その後、保護者、同窓会、地元町内会関係者等を対象に説明会(70回余)を開催し、多くの意見を参考にした。

平成14年に総工費約40億円で着工され、平成16年3月22日にオープニングセレモニーが開催され開校した。

施設は、資生館小学校、資生館小ミニ児童館、しせいかん保育園、子育て支援総合センターが一つの敷地内にある複合施設となっている。

コンセプトは、『相互交流』自然な交流が生まれるように1階に広い空間や天然芝のグラウンド、『解放』外部から施設内をうかがうことができる大きな窓ガラス、メモリアルホールや交流ホールの設置、また、体育館も地域住民に開放している、『環境』グラウンドの芝生化、太陽光発電システム、バリアフリー、エレベーター設置(2カ所)身障者用トイレ、人感センサー等の整備、『安全』常時警備(通年6:30～22:30)監視カメラ(10台)の設置、IDカード、防犯ブザー、全館合同避難訓練等となっている。

平成31年度 旭川市旭山動物園施設概要

■名称

旭川市旭山動物園【Asahikawa, Asahiyama zoological park and wildlife conservation center】

■所在地

〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼

※正門:北緯 43 度 46 分(日本最北の動物園), 東経 142 度 29 分, 標高 170m

■開園年月日

昭和 42 (1967) 年 7 月 1 日

■設置・運営

旭川市

※関係法令:旭川市旭山動物園条例 昭和 42 (1967) 年 7 月 1 日施行

■設置目的

市民の動物に対する科学的教養を高めるとともに, 合せて市民の保健及び休養に資するため

■使命・役割

1. レクリエーションの場 2. 教育の場 3. 自然保護の場 4. 調査・研究の場

■園長

坂東 元(ばんどう げん) 平成 21(2009)年 4 月 1 日就任

■従事者数 ※平成 31(2019)年 4 月 1 日現在

正職員 31 名 園長(獣医), 主幹 1 名, 管理担当 11 名, 飼育担当 18 名(獣医 3 名)

臨時職員 26 名 管理担当 13 名, 飼育担当 13 名

嘱託職員 6 名 管理担当 5 名, 飼育担当 1 名

■飼育動物点数 ※平成 31(2019)年 4 月 1 日現在

101 種/633 点(ほ乳類 45 種/309 点, 鳥類 52 種/308 点, 両生類・は虫類 4 種/16 点)

■施設構成 ※平成 31(2019)年 4 月 1 日現在

敷地面積 : 151, 998. 56 m²

飼育展示施設: ととりの村, きりん舎, かば館, ペンギン館, あざらし館, ほっきょくぐま館, もうじゅう館, ホッキョクギツネ舎, 小獣舎, シロフクロウ舎, オオカミの森, エゾシカの森, シマフクロウ舎, タンチョウ舎, 両生類・は虫類舎, 北海道産動物舎, チンパンジーの森, さる山, サル舎, おらんうーたん館, てながざる館, くもざる・かびばら館, こども牧場, 第二こども牧場,



札幌都心部 子ども関連 複合施設

■ 事業趣旨

- ドーナツ化現象による都心部4小学校(創成小・大通小・豊水小・曙小)の児童数減少に伴い、
学校統合による適正規模化 (資生館小学校)
- 子どもが安全で健やかに過ごす場の地域要望 (ミニ児童会館)
- 全市的に利用可能な保育園の設立 (保育園)

共稼ぎ

ひとり親家庭

保育所待機児童…

- 少子化現象対策の一環として、子育て支援事業の具体化 (子育て支援総合センター)
- 0歳児から児童期までの一貫した子育て支援
- 地域コミュニティーの再構築をめざし地域に開かれた施設づくり

	S32	H13	
人口	46万	185万	4倍
児童	6万	9.5万	1.5倍
	13%	5.1%	
小学校	51	211	

■ 建設の経緯

- H11.8 「札幌市学校適正規模検討懇談会」設置(教育長の諮問機関)
委員構成:学識経験者5名、市民5名、教職員4名
- H12.5 意見書提出
⇒小学校 18~24クラス、中学校 12~18クラス
都心部小学校統合計画スタート
- H12~ 保護者、同窓会、地元町内会関係者等を対象とした説明会(70回余)
- H13.8 臨時市議会にて統合校設計費等の補正予算案可決(総工費約40億)
- H14.8 着工
- H16.3.22 オープニングセレモニー
- H25 開設 10年目
- H30 開設 15年目

『資生館』の由来について

明治4(1841)年開拓使によって設立された学問の場。

開拓の急務は人材の育成に有り。

バンブツシセイ…大地の徳はなんとすばらしいものであろうか！すべてのものはここから生まれる。